

TYPE OF INDUSTRY

情報通信研究機構

# NICT 先端研究

(186)

世の中を騒がせている「新型コロナウイルス」だが、太陽にも我々の社会に大きな影響を及ぼし得る「太陽コロナ」が存在する。「コロナ」とは元来「王冠」という意味で、皆既日食の際

に月の影の周囲から真珠色の淡いガスが放射状に広がる様子が、あたたかも太陽が光り輝く王冠をかぶっているように思われたのである。この太陽から放出されるガスが宇宙空間へ放出される現象を「コロナウイリス」も、顕微鏡で見ると球状のウイルス本体の周

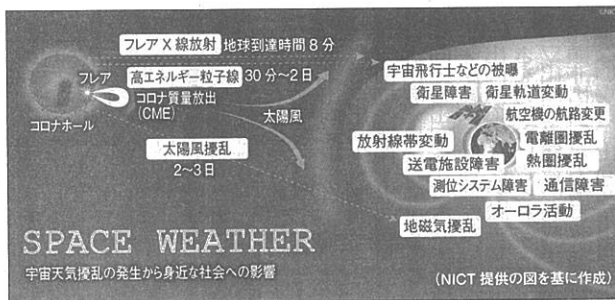
## 宇宙天気を監視・予報

電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター！ 大辻賢一  
宇宙環境研究室 研究員

2011年京都大学大学院卒。国立天文台太陽観測所、京大飛騨天文台を経て、20年NICTに着任。地上光学太陽望遠鏡網を用いた太陽表面におけるガス塊噴出現象の研究および宇宙天気予報システムの改良に従事する。博士（理学）。



しば報告されている。このため情報通信研究機構（NICT）で「宇宙天気予報センター」を設



置して、太陽と地球を取り巻く宇宙環境、すなわち「宇宙天気」の監視・予報を行っている。ここで、地上の観測装置や人工衛星から得られたリアルタイムのデータを基に、スーパーコンピュータによるシミ

（火曜日に掲載）

科学技術・大学